

第57回『社会を明るくする運動』活動を実施

「犯罪・非行の防止と更生の援助のため、地域住民の理解と参加を求める」ことを目標として、“社会を明るくする運動”活動が実施されました。

7月2日、下野市保護司会今井会長より法務大臣からのメッセージが広瀬市長へ伝達されました。

また、7月4・5・6日には、それぞれJR自治医大駅、小金井駅、石橋駅にて、保護司会、更生保護女性会、民生委員児童委員協議会の皆さんが、街頭普及啓発活動の一環としてカットパンを配付し、地域住民の方々に『社会を明るくする運動』への理解と協力を呼びかけました。



法務大臣からのメッセージを伝達



小金井駅前での街頭普及啓発活動

農地・水・環境保全向上対策活動組織「柴地区環境保全会」 生き物調査隊大活躍！ 田んぼまわりの生き物調査を実施

7月24日（火）国分寺東小学校児童による田んぼまわりの生き物調査を実施しました。この事業は、農地・水・環境保全向上対策事業の生態系保全活動として位置づけられており、栃木県下すべての活動組織で実施されるものです。

この日は、講師の大橋盛久氏の指導のもと、十数名の児童が生き物調査隊として参加し、保護者、保全会会員等とともに、友愛館周辺の田んぼや水路に生息する生き物について調査しました。

採取した結果、アメリカザリガニやトウキョウダルマガエル、ニホンアママガエル、キンフナ、ギンフナ、オイカワ、タモロコ、スジエビ、ヒメアメンボ、ギンヤンマやナツアカネなど柴地区にはたくさんの生き物がいることがわかり、これからも、これらの生態系を絶やすことなく、守っていく大切さをみんなで話し合いました。



サッカー大会で見事優勝！ 強いぞ南河内FC

今大会で23回となる下野市近隣マクドナルド少年サッカー大会が、南河内サッカースポーツ少年団（南河内FC）の主催により、7月7・8・14・15日に開催されました。

南河内FCはU7・U8・U10・U12クラスに出場し、U7は2位、U8は大雨のため順位を決められませんでした。U10では決勝まで勝ち進み、ともぞうSCと対戦し、見事優勝をかざりました。また、U12でも、決勝戦で惜しくも三和クリアンスに敗れましたが、大雨の中戦う選手たちに、大きな歓声が沸き起こりました。

南河内FCから選出の大会優秀選手（敬称略）

大野大我（U10） 手塚翔太（U10） 安藤健太郎（U12）

石島聖也（U12） 谷田部晃輔（U12） 山内優志（U12）

練習日 / 木曜日の午後6時30分～（祇園小） 土・日曜日は主に試合

問い合わせ先 / 南河内サッカースポーツ少年団 団長 大山 茂

携帯：090-8647-7618



児童館って楽しいよ！

昨年まで、国分寺東児童館（柴公園）で実施していました母親クラブ主催の夕涼み会が、今年は7月29日（日）友愛館（けんこう広場）で賑やかに実施されました。

柴北おはやし会の皆さんの軽快なリズムのおはやしで始まり、真岡高校ジャグリング同好会の皆さんによるアトラクションでは、ハラハラドキドキのスリリングな演技に拍手喝采でした。

また、福袋・焼きそば・スーパーボール・かき氷・フランクフルト等の模擬店も子ども達に大人気でした。やっと訪れた今年の夏の夕涼み会は、子ども達にとって大満足の日になりました。



県道整備要望に関する現地調査が実施されました

栃木県議会の県土整備委員会では、県道整備要望に関する現地調査を毎年実施しています。

下野市では、7月30日（月）に現地調査が行なわれました。広瀬市長から県土整備委員会に対し下野市街地における国道4号の交通渋滞対策として、また、合併支援道路として、石橋地区の文教通りと国分寺地区の小金井西通りを結ぶ都市計画道路の早期整備を要望しました。

これに対し、県土整備委員の中からも、早急な対応が必要である旨の意見が出され、県執行部から前向きな回答がありました。



下野市国際交流協会設立15周年記念講演会を開催

下野市国際交流協会では、設立15周年を記念して、国際審議会「ユネスコNGO」会長として活躍されている磯村尚徳さんを招き、7月1日（日）にグリムの館にて講演会を開催しました。

「日本人はなぜ世界がよめないのか」をテーマに、磯村さんの海外での貴重な体験をもとに国際的視野から分かりやすくお話いただきました。当日は300人近い方がご参加くださいました。



箕輪橋が開通しました

平成15年度から整備を進めてきました、一級河川姿川に架かる箕輪橋の開通を祝い、去る7月31日（火）午前10時から開通式が行われました。

開通式には、広瀬寿雄市長や、地元関係者ら約60人が出席し、安全祈願を行った後テープカット。最後に三世代夫婦を先頭に渡り初めを行い開通を祝いました。

既設の箕輪橋は、昭和42年3月に完成後、老朽化が進み、重量規制により大型車の利用ができない橋梁となっていました。また近年は、壬生町へのアクセス道路として朝夕を中心に交通量も多くなり、通学路として利用している児童・生徒が非常に危険な状況にありました。そのため、歩行者の安全と大型車両の通行を検討して、既設橋南側に延長76.0m、全幅員8.7m、有効幅員7.5mの橋を新設整備し、既設橋を歩道橋として利用することとしました。

